

WUB Tokyo NEWS

No. 2 2003.1.31 年4回発行

発行/WUB東京 広報委員会

発行責任者/重田 辰弥

WUB東京 事務局(毎週水曜日 11:00~16:00)

東京都品川区西五反田2-12-3 第一誠実ビル7F

〒141-0031

Tel:03-5759-7831 Fax:03-5759-7832

URL http://w2.nasbi.co.jp/wubtokyo/htm/_index.htm

E-mail info@WUBTOKYO@egroups.co.jp



INDEX

ボリビア大会に参加して—WUB東京 重田 辰弥
拝啓、沖縄残波ロイヤルホテル殿—島袋 正克
我が第二の故郷を思う—長嶺 為泰/知花 弘和
第6回WUB世界大会ボリビア2002 プログラム
ボリビア大会フラッシュバック
ビジネスと南米—斎藤 陽子
ボリビア大会の旅—高倉 玲子
WUB東京フラッシュバック(9月~12月)
新会員紹介(沖縄発)—高宮城 徹夫・花城 可雅
情報発信掲示板—
イベント報告/WUB東京事務局より/編集後記 ほか

ボリビア大会に参加して

WUB東京 会長 重田 辰弥

今回のボリビア大会で最も印象に残ったことは一世移民先輩の苦闘と栄光。さらに大会を担った二、三世の若いメンバーの活躍ぶりでした。大会に先立ちボリビアを訪ねたあるWUB ITメンバーは地元県人会のクールな対応を懸念していましたが、本番ではそうした気配は微塵も感じられず青壮老一体となった暖かい歓迎振りに感激しました。

私は参加に先立ち、ネットで1999年ロサンゼルス国際日系研究シンポジウムでのカリフォルニア大アメミヤ女史によるサンタクルスの沖縄移住民の「労働苦難」のフィールド調査を基に移民一世・二世の価値観の相克と緊張関係に触れたレポートを見ました。しかし、今回のWUBボリビアの若いメンバー達は一世への十分な敬意と配慮、自らの献身的活動によって世代間の共感共有に成功し、さらにより若い学生世代にウチナンチュ・スピリッツ継承への確かな足掛かりを築いたと思います。

また、99年のロス第3回WUB世界大会でコトキン博士が「離散共同体」としてのユダヤ民族研究から「ディアスポラ」を論じ、その中で華僑や印僑、さらにWUBについて述べたのを聞きました。

今回ボリビア大会のビジネス交流のセッション・プログラムで南米を中心と他支部の多彩なウチナンチュに接して「ディアスポラとはこれか」と思いました。名刺交換して気付いたことは北・南米メンバーの二世の中には弁護士、会計士、医者、建築士等のいわゆるprofessional services businessが相当いたことです。WUB創始者である沖縄二世のハワイの仲宗根元会長は元ホノルル市の経済部長ながらMIT卒のエンジニア出身、前北米のノーラン・比嘉会長は麻酔医です。一世の渡口北米副会長もデンティストで、斎藤陽子さんは獣医出身ながら経営者で且つ教育評論家。これらWUBメンバーはお互いの出身地やルーツを語るよりビジネス情報の交換に熱心でした。ボリビア世界大会に参加して、移民一世として苦闘、成功の上に郷愁を共有するゲマインシャフトとしての県人会とは微妙に異なる、ビジネス連携という機能を指向する二世中心のゲゼルシャフトとしてのWUBを見ました。

南米を訪問したメンバーはそれぞれ異なった視点から多角的な印象を語るでしょう。今回、私は敢えて実感的感想を他に譲り、WUB発生の意味について、検証不十分ながら歴史的、概念的アプローチを試みWUB HPにUPしました。それはWUB東京の存在性と今後起こり得るメンバー間の価値観の齟齬や外部からの批判に耐え、WUBが継続するためには必要なステップと考えたからです。その意味でごく短いながらも今回のボリビア訪問はそうした作業への貴重な一

歩と契機を与えてくれました。

12月2日の琉球新報はWUB南米連絡会議で報告をするマルコス WUBボリビア会長の姿を伝えています。マルコス会長の高揚が伝わってきます。若きボリビアの獅子達へエールを送ります。



拝啓、沖縄残波ロイヤルホテル殿

島袋 正克

四月のサンタクルスは、過ぎ去った夏の残暑、そしてカーニバルの余韻が残っている。その午後二時、一日で一番暑い時間。この陽射しの中では木陰を出るだけでも勇気が要ると思っていると、目の前にバスが停まり、そして「沖縄残波ロイヤルホテル」という文字が目の前にあった。



バスのドアが開き「ケーカロール(何て暑いんだ)」と言いながら人々が降り、そして何人かの人々が乗り込むと、小窓から「パーモス(乗るの)」という運転手の催促の声につられて、私は思わず、その満員バスに乗ってしまった。

すぐにバスは走り出そうとする。だが、「エスペーレ(待って)」という女性の声で急ブレーキ。ドアが開き、野菜籠と足を縛られた鶏が押込まれてきた。私は入口付近に立っていたので籠に押され、よろけて危うく鶏を踏みそうになる。その後から肥った女性が子供の手を引いて乗り込んできた。車内温度がさらに上昇したようだ。運転手が振り返って「ハポネース(日本人)」と聞く。頷くと「キーディーセ(何て書いてあるの)」と言い、窓から手を出してバスの脇を叩く。

「拝啓、沖縄残波ロイヤルホテル殿」「御社のバスは南米ボリビアで第二の人生を過ごしています。その人生は、貧しいけれども一日を精一杯生きている人々を乗せて走る、という素敵なものです」「赤や青の原色に塗かえられて、沖縄で暮らしていた頃とは衣装が変わったようですが、それでも出生地を消さずに走っています。もう海は見えませんが…」

第6回WUB世界大会ボリビア2002 実行委員長

我が第二の故郷を思う

長嶺 爲泰／知花 弘和

ボリビアの入植記念日は8月15日である。奇しくも終戦記念日と重なる。新天地を求めて1954年8月15日、第一陣275名が到着、1ヵ月後に第二陣の125名が合流した。後続移住者は合計で340余名を数える。

最初の「ウルマ耕地」では入植早々2ヵ月後、原因不明の熱病が発生して最初の犠牲者が出た。それから6ヵ月の間に15名の尊い命が奪われた。俗に云う「ウルマ病」である。到着早々一家の大黒柱を失った7家族、あるいは幼い子供3名を残していった妻の死、あるいは息子と娘を失い悲観にくれ、まさに地獄絵そのものである。当時11歳の長嶺自身も罹病していた。全体の約3割が罹病し次は誰か…と皆が考えた。20代の若い独身青年たちは身を賭して立ち働いた。幸い一命を取りとめた。このような状況下「不適地」として決議し移動を余儀なくされた。現在の移住地は3番目の場所である。

ジャングルであった。道も無く飲み水も無く、全てゼロからの出発。ランプの生活であった。先輩移住者たちは苦難を苦難とせず、一致団結して理想郷の建設を進めた。組合組織をつくり、学校、病院の運営も全てやったのである。本当に

偉かったかと敬意を表する。

当時はまだ米国民政府の施政下であり、日本人としてのパスポートは無く、それに変わる身分証明書が唯一のものであ



コロニアオキナワ

た。沖縄が日本復帰した年の5年前(1967年)に移住地は先行して日本政府に移管され国際協力事業団(JICA)が支援する現在の形となったのである。



左長嶺 右知花

当初は自分たちで伐採した焼畑に陸稲、トウモロコシ栽培が主力であったが年と共に機械化が進められ綿花、大豆と小麦作へ大きく移行してきた。旱魃あり大水害あり、隣国への転住続出、紆余曲折を経て、試行錯誤を繰り返しながら今日に至った。大型機械の導入と大農場、あるいは大牧場に様変りしたコロニアは果たして全て安定した経営が成されているかと云えば残念ながらごく一部を除いて実体は厳しく容易な状況ではない。

コロニア沖縄は「入植50周年記念」を1年半後に控え様々な記念事業と行事が計画されるという。一世移住者が長年築いてきた基盤の上に、これからの50年に向けて後継者がいかにバランスよく発展させるか課題も多く注目するところである。今回のサンタクルスで開催された「第6回WUB世界大会」の運営は見事であったと各国の参加者は絶賛した。若い二世層を中心とした運営であった。うまく世代交代が移行している証でもある。彼らにとってもやり遂げたという誇りと自信になったと思う。

肥沃で広大な大地と豊富な資源を内蔵するボリビアは必要とするところに、あらゆるものを提供できる可能性を秘めた国である。「WUB」のつながりを通して巨大な市場を有する日本を始め、世界各地に根を下ろす兄弟達と強固な「信頼と絆」が築かれ、ビジネスを通して市場開拓が出来ないか、そのことがひいては移住地の発展に繋がる。どのような方法であれ貢献できればと考えている。これが大きな夢である。

第6回WUB世界大会ボリビア2002 プログラム

●第1日 10月11日(金)

- 07:30~09:00 **チャプター会議**
(ホテル・ロス・タヒーボス"サロン・ジャスミン2")
- 08:30~09:30 **受付**
- 09:30~12:00 **開会式**
(ホテル・ロス・タヒーボス"サロン・ガルデーニア")
 1. 開会宣言 大会実行委員長 島袋 正克
 2. 真実紹介
 3. 参加支部紹介
 4. 歓迎の挨拶 WUBボリビア会長 マルコス 中田
 5. 主催者挨拶 WUBインターナショナル会長 呉屋 守将
 6. ご祝辞 ボリビア政府、沖縄県
 7. 経済セミナー"ボリビアの経済展望" エコノミク銀行頭取 フストY. カクダ氏
 8. 開会
- 12:00~13:30 **昼食**
(ホテル・ロス・タヒーボス"テラーサ")
- 13:30~18:00 **国際商談会**
(ホテル・ロス・タヒーボス"サロン・ガルデーニア")
- 19:30~20:00 **会場移動**
- 20:00~23:00 **WUBパーティ(サンタクルス中央日本人会館)**
 1. 歓迎の挨拶 WUBボリビア会長 マルコス 中田
 2. 主催者挨拶 WUBインターナショナル会長 呉屋 守将
 3. 来賓祝辞 在ボリビア日本国 特命全権大使 佐々木 肇
 4. 商談会結果発表 国際商談会担当 ホルヘ 山本
 5. 乾杯 WUB創始者 ロバート 仲宗根
 6. ボリビア舞踊 サーヤ、ボリビア・ウニーダス
 7. 感謝状贈呈式 島袋 金丈、与那嶺 真次
 8. WUB支部紹介 各参加支部への記念品贈呈
 9. 大会旗の引継ぎ WUBボリビアよりWUBハワイ
 10. 閉会の辞 WUBボリビア会長 マルコス 中田

●第2日 10月12日(土)

- 08:30~10:45 **表敬訪問(各WUB支部代表者)**
サンタクルス市長 サンタクルス州知事 ボリビア商工会議所

- 09:00~10:45 **サンタクルス市内観光(一般WUB会員)**
- 11:30~13:30 **沖縄移住地へ移動**
- 13:30~19:00 **沖縄移住地(Colonia Okinawa)訪問**
 1. 歓迎の挨拶 WUBインターナショナル会長挨拶
 2. 昼食会
 3. レクリエーション(クレー射撃)
 4. 大農場視察
 5. オキナワ農牧総合協同組合訪問
 6. オキナワ日本ボリビア協会
 7. 陣内絵画展オープニング
- 19:00~22:00 **ユヌ・ウチナンチュタ食会**
 1. オキナワ日ボ会長挨拶
 2. WUBインターナショナル会長挨拶
 3. WUBボリビア会長挨拶
 4. 乾杯
 5. 余興
 6. 閉会の辞
- 11:30~13:30 **サンタクルス市へ移動**
- 第3日 10月13日(日)
- ゴルフ・トーナメント
- 06:30~06:45 **マバイソ・ゴルフ・クラブへ移動**
- 07:00~15:00 **大統領杯 ゴルフ・トーナメント**
 1. トーナメント受付
 2. トーナメント・ルール説明
 3. トーナメント開始
 4. トーナメント終了
 5. 昼食
 6. 表彰式
 7. 解散
- オプション・ツアー



●ポリビア大会フラッシュバック●

(編集 小畑耕行)



①10月9日19時成田出発。ロサンゼルス経由でサンパウロ空港に着き、サンタクルス行きの便を待つ呉屋IT会長と重田会長。



②30時間近くかかって漸くサンタクルスSABSA空港到着。ポリビア支部の心遣いで用意された音楽隊の歓迎を受けながら、初めて踏み出すポリビアの大地。



③ホテル・ロス・タヒボス到着。ロビーで一息入れながら、国際会議のスケジュール等を打合せするWUB首脳。正面左から2人目五城ポリビア沖縄県人会会長



④大会第1日目、開会式会場の中央第2列目に陣取って、今や遅しと式典の開始を待つWUB東京代表。左から重田会長、菅原・大城副会長、高倉理事、長嶺監事、金城理事(撮影 小畑監事)



⑤9時過ぎ開会式開始。日本語とスペイン語の順次通訳体制で、第6回世界大会の司会を進行する比嘉さんと金城さん。



⑥開会式会場前の幅広の通路を利用して設置されたブース会場に急造でしつらえたWUB東京ブース。



⑦大会2日目、コロニアオキナワへの訪問。日ボ会館の入り口に設置された、開墾に出かける家族をモチーフにした立像。



⑧日ボ会館の応接室に掛けられた写真額に長嶺少年の姿を発見。額をテーブルに下ろしてもらい、鉛筆でマーキングして撮影。



⑨歓迎式会場の釣りクラブに向かう面々。ポリビア国旗の小旗を振りながらブラスバンド演奏で出迎えてくれた子供達に思わず感激。



⑩コロニアオキナワの津嘉山さん宅を訪問し、移住地の生の暮らしを拝見。夕映えの広大なポリビアの大地を力強く走るコンバインの雄姿に感動。

ビジネスと南米

Unjted State Ceramic Supply, Inc. 副社長 斎藤 陽子
わが青春の頃より憧れの地であった南米で、WUBポリビア世界大会が催されるのが決まった日から、私は大会参加を決めていた。

かつてキューバをカストロと共に勝ち取った、チェ・ゲバラが、このポリビアで再びゲリラ活動を試みるが果たせず、ポリビアはゲバラの終焉の地となったところでもある。

沖縄、東京そしてポリビアと、続けて三度WUB世界大会に参加しているが、ポリビア大会は過去の大会と比べて遜色がなく、特にポルトガル語と日本語を流暢に話す、バイリンガルの若年層の方々が、ボランティアで裏方を支えている姿は、大変すがすがしく印象的で、各国からの遠来の会員を手作りの温かさで迎えてくれ、その気持ちが開催中を通して伝わり、ポリビア大会は成功であった。



さてわが社は米国ロサンゼルスにて、カナダからメキシコまでの、アメリカ西部沿岸の窯業生産工場各社へ、窯業原料を供給している会社だが、鉱物資源の豊かな南米方面から、窯業

鉱物材料を仕入れて輸入できればと、WUB南米会員とのコネクションを得る目的で、私は3年前にWUB会員になった。



サンタクルス市中央広場

そして今回のポリビア大会に出席し、わが社が探していた南米コネクションを得る事ができ、この大会は私にも大きな成果があった。ポルトガル語日本語の両語が理解でき、日本語で瞬時にEメール交信ができ、貿易事務にも明るい、ポリビア大会実行委員長を担当した、島袋正克氏と現在具体的に双方の話が進みつつある。

この企画が現実のものとなれば、まさにWUBが提唱している、世界の沖縄系ネットワークを活用し、共存共栄の目的が果たせたことにもなり、是非ともこの企画を実現させたいと願っている。

ボリビア大会の旅

高倉 玲子

10月10日12時15分、長旅を終えて漸くサンタクルス、SABSA空港に到着。1954年に第一移住団を受け入れた広大なボリビアの大地に、来るべき機会を逃さず、やっと来たぞ！感激で南米の大地にひれ伏し、接吻したい衝動に駆られた。短い滞在中にすべてを目に焼き付けて、土産にしたい。

そんな思いを乗せてマイクロバスは、土埃を巻き上げながら一路市街地へ走る。気温30度、エアコンは無し。わずか30数年前の沖縄もそうだった。風が心地良い。途中、広大な牧草地帯。すかさず沖縄に牧場を持つ焼肉金城の金城さんを見る。彼の目はランランと輝き、獲物を追う表情をしている。興味を持って彼に質問する。「どんな気持ちで牧場を見ていたの？」彼曰く、「八重山に牧場を買うよりもボリビアに投資すれば良かった」「ボリビアで牛を飼育しても日本への輸送コストが高いでしょ？」「いや、マーケットはヨーロッパにもあるさ」なるほど、WUBスピリット満載の猛烈会員ここにあり！脱帽。

空港内税関口に掲げられた「めんそーれ」の横断幕、建物を出ると歓迎の楽団。厳粛に円滑に運営された大会初日。簡素な中にも民族色豊かな異国の夜のパーティー。大会2日目、最も感動した「釣り倶楽部」での情景～小旗を打ち振って出迎えてくれた子供達の目とはにかんだ笑顔。テントの下でのヒージャー汁のおもてなし。クレー射撃体験。夜は日ボ会館で県人会とコロニアオキナワ住人参加の歓迎夕食会。500名を越すと思われる食事の準備は移住地の主婦の手作りの和琉料理



で、沖縄の食文化はしっかりと継続されていた。久しぶりの和食を堪能してから、セキュリティーカーに先導されたマイクロバスでホテルへの帰路についた。

2日間、大方は全参加支部と同じ

行動であったが、幸いなことに東京メンバーは移住者であったWUB東京会員の長嶺さんや知花さんの配慮でいろんな場所を巡ることができた。市内観光でオキナワマーケットを覗いたり、コロニアオキナワに向うバスの中で移住当時の生の体験談を聞いたり、日ボ会館では協会会長のお話を伺って当時の貴重な写真を見せて頂いたりもした。3か所の移住者の家庭を訪問し、巨大なコンバインを駆り出して大豆の収穫の様子を見せて頂くなど貴重な特別なコースを辿った。感動と興奮、好奇心を煽られたこの貴重な体験は知花さんや長嶺さんのエスコートの賜物であることはもちろんだが、WUBボリビアの役員と事務局のご配慮に心から感謝を申し上げたい。



2001年のWUB世界大会東京は、専門分野を持つ若手の活躍が目立って各支部から注目されたと、一スタッフとして自負していた。しかし、WUBボリビアの若手実行役員の「肝ぐる」を前面に出した、古き良き沖縄精神の溢れた企画、運営には完全に脱帽である。東京のそつのないスマートで格調高い大会は、それなりの評価があったかもしれない。だが、WUB大会として参加者にどれほどの感動を与えられたのだろうか？ わずか2日間のボリビア大会は感動と感激の連続であった。自分自身を沖縄の原点に引き戻してくれた貴重なお土産をもらい、感謝すると共に都会で暮らして大事なものを忘れていた自分を反省している。もっとも大事なものを、それはお金をかけただけでは与える事のできない「感性」への呼び掛けであると信じている。参加者はボリビアのみなさま（県人会を含め）の「肝ぐる」をそれぞれの感性で受け取って帰られたと思うが、感想はそれぞれに違うのだろうか？

今後のWUB東京の活動において、体裁を調えるのではなく「肝ぐる」を大切に作る組織であるよう提起したい。

【9月】

1日/『えーく』第一号発刊！菅原さん、蠟山さん、屋良さんを筆頭にえーく隊の皆様、お疲れ様でした！また広告、原稿などご協力いただいた皆様！ありがとうございました！



**WUB東京
フラッシュバック
〈9月～12月〉**

14日/WUB東京9月理事会、会費の話など
27日/ロバート仲宗根ファウンダー、東京ミーティング

【10月】

11～13日/第6回WUB世界大会ボリビア開催 WUB東京からも多数参加！～重田会長、大城副会長、菅原副会長、金城理事、高倉理事、長嶺監事、小畑監事、知花会員、斎藤会員～



14日/又吉さん、Matakichiメルマガもどき Vol.0.3 発刊
下旬/木村夫妻マレーシアへ

【11月】

3日/WUB東京11月理事会、忘年会の話など
19日/重田会長の壮大なるボリビアレポート終章、タイトルは「WUBボリビアの若き獅子達よ！」



23日/文化庁指定、有形文化財探訪
・ガーデンパーティーで寛ぐ屋良ファミリーと當間さん

23日/WUB東京ホームページ改革本格化！勢いを増す高宮城@webマスター！

【12月】

1日/那覇マラソン、重田会長10連覇ならず！
10日くらい/忘年会直前になり参加者が激増！30名の予定が60名に！国吉さんはじめ関係者パニック状態！



12日/12月例会&忘年会、ボリビア大使館のご参加&カンツォーネの宮良多鶴子さんミニライブ、女子プロボレー賞金王時本さんら多彩なゲスト！と大盛況！二次会は貸切で大騒ぎ！

14日/WUBタイ 瀬底事務局長来訪

(編集 平良智広)

新会員紹介〈沖縄発〉

沖縄県舞台芸術振興協同組合理事長・バイオリニスト 高宮城 徹夫

バイオリニストと聞けば皆さんとても華やかなイメージを思いうかべるかも知れませんが、多くは演奏だけでは生活できず、レッスンなどの教授活動・各小中学校などでの音楽鑑賞教室、またその他の活動を平行して行っているのが現状です。そこで1998年に県内の音楽家・演劇人を中心に音楽芸術関係の団体としては、県内初の県知事認可団体『沖縄県舞台芸術振興協同組合(SAPS)』を立ち上げました。県内の若手演奏家、俳優、バレエダンサー、舞台関係者約20名が組合員として登録されています。県内全域を活動拠点とし、舞台芸術におけるあらゆるジャンルに対応できる総合的なステージ・アトラクションの展開を目指して頑張っております。



例えば、演奏会の開催には、演奏だけでなくバレエや朗読などを有機的に織りませたり、演劇公演に生演奏をからませたり、オリジナルの劇随音楽を創作したりと幅のある演出を試みています。校歌や社歌などの作曲・オーケストラ編曲や演奏・CD作成、また事務所開き・パーティなどへの演奏者派遣やアトラクションの企画・演出なども行っております。

私個人としてはバイオリン演奏はもとより、上記のような企画に沿った音楽の作・編曲・オーケストレーションなどを主に担当しております。

昨年、現事務局である高宮城悟会員に誘われて入会致しましたがWUBのさまざまなネットワークを通じて、個人的にも活動の幅が広がればと思っております。

はなしろ小児科 院長 花城 可雅

入会のお誘いは数年来、私の幼馴染の高宮城悟氏よりございましたが、WUBに関する知識はマスコミで報道されている程度しか持ち合わせていませんでした。

当時の私は県立病院へ勤務しており、家と職場を往復する生活で、世間へ目を向ける余裕もなく、また沖縄市在住の私が東京会員の皆様とビジネスでネットワークを形成することに興味もありませんでした。しかし、平成13年2月沖縄市内での小児科医院開業を機に友人、知人らと旧交を温めるうちに、医療情報があまり伝わっていないことを知ると同時に「コミュニケーションネットワークを作ることには大事なことだ」との高宮城氏の言葉を思い出し入会に至りました。

近年、医療過誤や保険医療制度への不安が医療全体への不信へと繋がっているようです。正確な情報が少ないことが医療不信をますます深めているようです。インフォームドコンセント(病状や治療方針の説明と同意)やセカンドオピニオン(主治医以外の医師の見解)を勧めることは医療を提供する側の義務であることは言うまでもありませんが、一方で医療を受ける側の権利でもあります。情報は共有できなければ価値も乏しくなります。

先ず私の役割は、会員の皆様と医療界のメディアとなれるのではないかと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。



略歴：昭和34年4月5日 北谷町に生まれる。普天間高校、福岡大学医学部卒業。県立中部病院臨床研修終了。平成12年12月31日中部病院退職(旧職・小児科医長、小児科指導医)。専門分野：未熟児・新生児

●イベント報告 イベント『Session』は、建築デザイン設計18社、異業種13社、計32社の出展があり、総入場者数約160名で盛況の内に終了しました。来場者も5つにカテゴリー分けされた掲示板を参照し、活発



に名刺交換が行われました。重田会長、日本アドバンストシステムのブース出展もありWUB東京会員も多数ご来場いただきました。IT呉屋会長からの祝電にも「変革のとき」とのメッセージをいただき、花を添えました。

●WUB東京事務局より 今年度より三島副会長兼事務局長の下、新しいWUB東京事務局がスタートしました。事務局メンバーは、平良智広(会計)、高宮城悟(HP)、国吉真理子(一般)の3名です。また、事務局は株日本アドバンストシステム社内に移転しましたので、併せてお知らせいたします。新事務局スタッフ一同、WUB東京のよりスムーズな運営に尽力してまいりますので、みなさんのお力添えよろしくお願いいたします。

●新入会員 琉球新報社 名城 知二郎、(株)ジュリエット 松尾 吉子、沖縄タイムス社 銘苅 達夫、高砂部屋 一ノ矢 充。

●ホームページの会員名簿活用 WUB東京ホームページ

情報発信 掲示板

に掲載の会員名簿に、各会員の活動内容、ホームページなどを掲載し、情報発信、PRの場としてご活用ください。infoWUBTOKYO@egroups.co.jp に依頼頂ければ、適宜掲載いたします。掲載例については、他の会員の掲載をご参照ください。ホームページは、<http://w2.nasbi.co.jp/wubtokyo/> です。

●会員限定ページのグループウェア機能 会員限定ページに、グループウェア機能(共有フォルダ、予定表など)を追加しました。会員間の情報発信/情報交換、WUB活動などにご活用ください。

■編集後記

突然の大雪に見舞われた東京、落ち葉を踏みしめる間もなく、真冬に突入した。今年最後の例会終了の安堵も東の間、年の瀬を迎え慌ただしく季刊誌『えーく』の編集に担当者一同大わらわ。『えーく』第2号はWUB世界大会ボリビアの特集となり、参加者に協力依頼、各々の視点から大会模様等に付いて忌憚なく報告していただいた。地球の裏側でのWUBフレンドとの友情の深まりは喜ばしい。新しい年を迎えるに当たりWUB東京の会員拡大も目標の一つ、また近隣国のWUBフレンドとの交流を積極的に進め更なる絆を創っていききたいものだ。冬枯れの庭にそろそろ山茶花が彩りを添えてきたが、来年も経済環境は真冬並に厳しそう。

(WUB東京副会長・事務局長 三島 康裕)



U S Ceramic Supply
 United States Ceramic Supply, Inc.
 わたくしどもは窯業生産工場各社へ適切な窯業技術指導と
 窯業原料の迅速な供給を行なっております

社長 齋藤敏之 副社長 齋藤陽子

Phone: 323-588-2545 Fax: 323-588-2522
 1866 East 66th Street, Los Angeles, C A 90001 U.S.A

WUB東京会員

長嶺 爲泰
 Oscar J.T. Nagamine

〒247-0061 神奈川県鎌倉市台3-6-15-705 Tel & Fax: 0467-43-3456
 Dai 3-6-15-705, Kamakura-shi, Kanagawa 247-0061
 Tel & Fax: (81)467-43-3456 E-mail: oscar@tim.hi-ho.ne.jp

たから 歯科


歯学博士 **高良 政勝**

診療所 沖縄県那覇市安里372番地
 TEL098-884-6480
 FAX098-884-1873



情報番組
 プロデューサー/ディレクター **八木 雪子**

株式会社NHKエンタープライズ21
 〒150-0047東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル3F
 TEL03-3481-7741 FAX03-3481-1786
 E-mail: yagi-y@nep21.co.jp



MEDIA-ONE 株式会社メディア・ワン

代表取締役社長 **仲松 健雄**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-10 松栄ビル7F
 TEL: 03-5297-4601 FAX: 03-5297-4611
 E-mail: nakamatsu@media-1.co.jp URL http://www.media-1.co.jp

ギャラリー南風

代表 **山田 ちづ子**

〒330-0803 埼玉県さいたま市高鼻町1-401-15
 TEL/FAX 048-644-8534
 大宮駅東口徒歩15分氷川神社隣



代表取締役社長 **岩崎 貴史**

株式会社 メディアトゥエンティワン
 〒108-0014 東京都港区芝5-13-11 第2二葉ビル10階
 TEL03-3798-3389 FAX03-5476-2924

事務所/店舗/倉庫といった業務用不動産のご用命は…
不動産戦略をサポートします。

上原 永大
 E-mail: uehara.harumasa@stepon.co.jp

勤務先/住友不動産販売株式会社 プロパティマネジメント事業部
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル9階
 TEL:03-3346-1030 FAX:03-5324-7367



東京で出会えるあなたの沖縄
銀座わしたショップ
 沖縄物産販売

株式会社 **沖縄県物産公社**
 〒104-0061 東京都中央区銀座1-3-9(実業之日本社1F)
 TEL:03-3535-6969 FAX:03-3535-6993
 http://www.washita.co.jp/

富里 会計事務所

税理士 **富里 善次**

〒171-0052 東京都豊島区長崎1-9-14
 TEL03-5996-2361 FAX03-5996-6615



瑞泉酒造株式会社

東京営業所所長 **具志堅 英雄**

〒105-0012 東京都港区芝大門1-15-10 吉實ビル4F
 TEL03-5425-2341 FAX03-5425-2343
 E-mail: tokyo@zuisen.co.jp



伊佐 美智子


港区赤坂3-9-10 (源)マルゲン13ビル5F
TEL003(3505)5084
 E-mail: minami-akasaka@ezweb.ne.jp



Grace

山本 ゆき

〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-13 第31丸源ビルB1(並木通り)
 TEL03-3574-9013 E-mail: Grace9013@fem.dion.ne.jp



夕雨子
与古田 夕雨子

〒104-0061 東京都中央区銀座6-9-13
 第1ボールスタービル5F
 TEL:03-3289-8575

「ウチナー司会屋」2003年1月 楽天HPに開店!!

沖縄専門、沖縄が大得意なプロが在籍、全国各地の沖縄イベントへ上等プロ司会者派遣します

ウチナー司会屋

代表 吉沢 直美

本店：沖縄県宜野湾市我如古2-14-5-A403
TEL&FAX098(890)0160 E-mail: fwkz4867@mb.infoweb.ne.jp
<http://plaza.rakuten.co.jp/uchinashikaiya/>



玉城流康舞会
金城康子琉舞道場
関西沖縄芸能協会

家元 金城 康子

〒557-0051 大阪市西成区橋3-10-9
TEL06-6657-2045 FAX06-6657-3359



NIPPON HOSO KYOKAI
あなたの声と受信料で
公共放送

日本放送協会

報道局
映像センター(映像取材)

早川 きよ

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1
TEL03-5455-3633 FAX03-3465-1774
E-mail: hayakawa.k-ku@nhk.or.jp

アメリカン フラワー

嘉手納 登美子

〒202-0014 東京都西東京市富士町4-15-9 武蔵野ビル3F
TELO424-66-5870
E-mail: kadena4187@docomo.ne.jp



三井造船株式会社
鉄構・物流事業本部 建設装置営業部 物流システムグループ

部長 与那覇 一佳

104-8439 東京都中央区築地5丁目6番4号
TEL03-3544-3948 FAX03-3544-3069
E-mail: kyonaha@mes.co.jp 携帯090-8855-0302



株式会社 南西環境研究所

代表取締役
環境計量士 田中 順一

〒903-0103 沖縄県西原町字小那覇 1469-1
TELO98-835-8411 FAX098-835-8412
<http://www.nansei-kankyo.co.jp/> E-mail info@nansei-kankyo.co.jp

RBC 琉球放送

取締役
東京支社長 白石 弘幸

琉球放送株式会社 東京支社
〒104-0061 東京都中央区銀座2-4-1(銀楽ビル)
TEL03-3567-9511 FAX03-3562-7887
<http://www.rbc-ryukyu.co.jp> E-mail: h-sira@rbc-ryukyu.co.jp

NCIS 日中インフォシス株式会社

代表取締役 福安 麗子

〒341-0018 埼玉県三郷市早稲田3丁目16番地17
TELO48-950-7703 FAX048-950-7704
E-mail: fukuyasu@dp.u-netsurf.ne.jp

オキナワグラフ 東京支社

支社長 中村 孝

〒104-0045 東京都中央区築地4-3-11
TEL03-3543-4281 FAX03-3543-4283



マーケティング&プロモーションプラン

代表取締役 湧川 ふき子

有限会社 ぱずる

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2-2-7 ストックハイツ湖南401
TEL : 098-833-8270 FAX : 098-833-8271 ☎0120-788-130
<http://www.puzzle.co.jp>



二條 江美子

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-2-7
星座館4階(新宿区役所正面玄関前)
TEL 3207-3857



株式会社 久米島の久米仙

代表取締役社長 島袋 周仁

本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町字宇江城2157 TEL.098-985-2276(代)
営業本部/沖縄県浦添市港川2-3-3 TEL.098-878-2276(代) www.k-kumesen.co.jp

阿 檀

知念 千恵子

〒104-0061 中央区銀座8-5-1(プラザG8 2階)
TEL3574-0702 FAX3574-1148



ふうげん

伊藤 政子

〒160-0021 新宿区歌舞伎町1-9-8
アサヒビル2F
TEL03-3209-7566 FAX03-3207-8277



取締役 東京支社長
ひがしきんじょう
東金城 筭 一



沖縄タイムス社
支社 〒104-0061 東京都中央区銀座2-4-1(銀楽ビル)
TEL (03) 3535-3486~9 FAX (03) 3535-3485

那覇新都心に新社屋完成



創刊
時代を伝えて110年

琉球新報社
東京支社長
幸地 光 男

東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座6-11-7(銀座オリコムビル7階)
TEL 03 (5568) 6855 FAX 03 (5568) 6858

<http://www.ryukyushimpo.co.jp/>

お陰様で25周年!



株式会社
日本アドバンストシステム

代表取締役社長 **重田 辰 弥**

<http://www.nasbi.co.jp/>

本社 東京都品川区西五反田2-12-3 第一誠実ビル TEL:03-5759-1781 FAX:03-5759-1627
大阪事務所 静岡事務所 沖縄事務所

地球的問題を解決する今世紀最有益樹ニームの関連資材




昭和生化学株式会社
SHOWA BIO CHEMICAL

代表取締役 **三島 康裕**

〒154-0001 東京都世田谷区池尻4-38-8-401
TEL: 03-5432-5055 FAX: 03-5432-5066
E-mail: mishima@neem.co.jp URL: <http://www.neem.co.jp/>

原子力発電所技術サービス・輸入産業機器販売・技術英文翻訳



株式会社東北エンタープライズ

代表取締役
名 嘉 幸 照

〒979-1111 福島県双葉郡富岡町大字小浜字大膳町119-3
TEL(0240)22-5963 FAX(0240)22-5630



金秀グループ
東京営業所

所 長 **山 城 悦**


〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館内207-2号室
TEL03-5220-5688 FAX03-5220-5689



沖縄インターネットTV局
iコマmercial
<http://www.chample.tv/>

あなたの商品をインターネットで宣伝しませんか!
有限会社ハブス

住所: 沖縄県那覇市宇小禄1831番地1
沖縄産業支援センター4階 407
取締役・システム部 部長 島田 秀吉
電話: 098-859-7055 携帯: 090-2733-8772
E-mail: info@hubs.co.jp



食品製造業務請負・アウトソーシング
有限会社 拓 栄

代表取締役社長 **平良 栄次郎**

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1-12-10 レジアス湘南5F
TEL0466-44-8481 FAX0466-46-5484

代表取締役
浦崎真作

<http://www.lideli.co.jp>

株式会社 **ライデリ**
TEL.098-882-8225 FAX.098-882-8227
〒903-0116 沖縄県中頭郡西原町字幸地580-3 LIDELI BLD.2F

(有)菅原律子設計事務所

and
itisi
interior & architecture

代表取締役 **菅原 律子** 一級建築士・インテリアコーディネーター

新しい集合住宅の提案 **Home Pageで逢いましょう**
p 090-4590-9633 t.f 03-3772-9695

〒140-0014 東京都品川区大井6-14-8
URL <http://www8.ocn.ne.jp/~su-archi/>
URL http://www.pittori.co.jp/itisi/itisi_top.html
e-mail ree@sepia.ocn.ne.jp




ねっ? 違うでしょ?
これが沖縄の海。

創業40余年 迅速・確実なサービス
沖縄ツーリスト

信頼のマーク 北海道から沖縄まで...全国34店のサービスネットワーク

東京支店 銀座案内所
TEL(03)3509-6311 TEL(03)3562-6455
港区新橋1-13-12 (銀座わしたショップ内)
E-mail: tyo@otsinfo.co.jp



アンデスインターナショナル株式会社

神奈川県知事登録旅行業第3-690号

代表取締役 **知花 弘和**

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-29-17 第10下川ビル106号
Tel:045-505-2544 Fax:045-505-1955 E-mail: andes@dol.hi-ho.ne.jp
〈海外連絡事務所〉 ブラジル国サンパウロ州サンパウロ市

はなしろ小児科

院長 **花城 可雅**

〒904-0035 沖縄県沖縄市南桃原3-36-13
TEL098-930-5177 FAX098-930-5188
E-mail: ym-hanashiro@msi.biglobe.ne.jp

情報は社会のエネルギー。伝えることで時代は進化する。



KOBUNDO

光文堂印刷株式会社 KOBUNDO PRINTING COMPANY

本 社/〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577番地
TEL.098-889-1131(営業本部) FAX.098-835-6111(G4)
東京営業所/〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-29 飯田橋NKビル7F
TEL.03-3269-8133 FAX.03-3269-8330